

未来を変える

イノベーションという言葉をよく耳にします。イノベーションとは、「革新」「一新」などの意味を持つ言葉ですが、日本では「技術革新」「大きな変化」などの意味を持つこともあります。つまり、ただ単に新しくするのではなく、これまでの常識が変わるほど社会を大きく動かす新たな概念を指す言葉ということです。

今、社会は激動化しお客さまや生活環境も多様化しています。教習所だけが過去の成功体験だけにしがみつき、新しいことが出来ないでいるとそう遠くない将来、お客さまから見放されてしまいます。

みなさん、一緒に「けんなん」の未来を考えていきませんか。

◆ あなたの未来を変えるのは誰か？

あなたの人生において未来を変えられるのは、
会社の上司ですか？両親ですか？奥さん、旦那さんですか？
それとも、お子さんでしょうか？

これらの人は、あなたの人生に何かしらの影響を与えることがあるかもしれませんが、あなたの人生を変える存在ではありません。

第三者は、キッカケをくれるに過ぎません。もし、未来に変化をもたらしたいのであれば、自分自身で何かしらの変化を起こさなければなりません。

あなたに変化を起こさせる存在は、あなた自身でしかないのです。

◆ 未来は、今この瞬間に何をすることで決まります

もし、あなたが未来の自分の人生や会社に何か変化を起こしたいと考えているのであれば、今日から何かしらのアクションを起こしていかなければなりません。未来は今日という日の延長線上であり、未来を作り上げているのは、『今』という瞬間の積み重ねなのです。

今日に妥協し「明日やろう・・・」と考え続けるのであれば、あなたの未来には何も大きな変化は起こらないでしょう。今、何もしなければ、未来はなにもしないあなたを向かえることとなります。あなたの人生に責任をとれるのは、あなただけなのです。

未来は、既に始まっていることに気づいて下さい。

◆ 普段使って（思って）いる言葉遣いを変える

できそうにない、不安だ、おそらく無理だ、面倒臭いなど、いつも消極的な言葉が浮かんだり、ついつい口から出てしまったりしがちですが、逆に肯定的な言葉「何とかなる、大丈夫だ」と置き換えてみるだけで気持ちが変わります。いずれにしても、自分を変化させるためには、思考と行動を変えるということが大切です。難局に遭遇しても、何とかなると思い行動に移すと意外に何とかなるものです。

◆ 変えたいと思えば変えられる

私たちが目指す目的地にたどり着くまでには、必ず多くの障害があります。

障害にぶち当たったとき、「困った、困った」では、ただ現状の不満を語っているだけで先に進みませんし、周りの手助けを待っているだけでは何の解決にもなりません。

他人に手伝ってもらうことなく、新しいアイデアで自らその障害を取り除く努力をすることが、自分の将来の利益になるだけでなく、周りの人や組織にとっても利益になるのです。つまり「けんなん」を変えていく原動力となるのです。